

# 鳥獣対策リーダーの養成始まる！

稲刈り後、二番穂が生えている寅次さんの田んぼで。

寅次：あれま。シシめが荒らしてったわ。んでも、これなら被害になんねからよがったなや。

惣吉：だきっと、こーゆうの食わせてっとよくねえつつたで\*。

寅次：誰が？

惣吉：農協の正道さんだあ。今はいいけど、味しめて秋にも出てくるよになんだと。稲刈ったら起こしといた方がいいってよ。

寅次：正道さんもだ〜いぶ詳しいんだなや。

惣吉：何とかプログラムつつうのに通ってるんだと。

\*よくねえつつたで：よくないと言っていましたよ

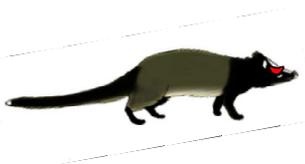
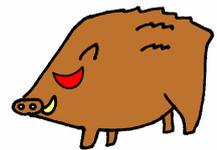


## 鳥獣被害はどうにもならない？

鳥獣被害が発生！

役場に頼んで駆除してもらっているけど、なかなか被害が減らない。柵を作るのもお金がかかる。人間の匂いを嫌うと聞いたので、髪の毛をぶら下げてみたけど効果がない。一晩中、番をしているわけにもいかない。

もう、どうしようもないのでしょうか？

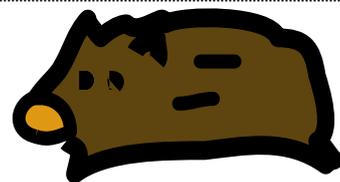


発行：鳥獣新聞編集部（栃木県自然環境課内）

TEL028-623-3261 FAX028-623-3212

ご意見、ご要望などお待ちしております。

無断転写、複製、転送、公開、掲示、配布など大歓迎！



## やれることはあります！

獣害は、野生動物が集落を餌場と認識することから始まります。何が餌になっているのか確認したうえで、**正しい対策をみんなで学習し、みんなで実践していく**ことが重要です（詳しくは鳥獣新聞第 11 号参照）。

でも、そんなこと誰に聞いたらいいのでしょうか？

## 「里山野生鳥獣管理技術者養成プログラム」始まる



栃木県では宇都宮大学との連携のもと、地域の相談役ともなる専門的な知識・技術を有する指導者の育成を、平成 21 年 9 月より開始しています。このプログラムでは、大学院修士課程の学生を対象にした「地域鳥獣管理プランナー」と、一般社会人を対象にした「地域鳥獣管理専門員」の 2 種類の人材を養成します。

このうち、「**地域鳥獣管理専門員**」については、市町村や農林業関係団体職員、猟友会員、一般農林業者などを対象としています。およそ 1 年をかけて、現地実習を主体としたカリキュラムを受講していただきます。

募集は半年ごとに行っており、現在 4 月からの受講生を募集中です。受講料は無料です。詳しくは、宇都宮大学農学部附属里山科学センター（電話 028-649-8164 <http://ssrc.utsunomiya-u.ac.jp/wmtp/index.html>）までお問合せください。

## 指導者を生かして、集落ぐるみの対策を

現在約 40 名の方がこのプログラムを受講しています。今後は指導者の協力を得ながら、集落ぐるみでの対策が広がることが期待されます。

野生鳥獣管理現地実習  
平成22年度上半期開講予定

回	内容	方法	開講予定月
1	イノシシの生態を踏まえた対策手法 獣害防止柵設置実習(イノシシ)	講義 実習	5
2	猛禽類の生態と保全 カワウの生態を踏まえた対策手法 カワウ対策の実際	講義 講義 実習	6
3	地域コーディネーターの役割と合意形成手法 地域の合意形成実習	講義 実習	6
4	クマの生態を踏まえた対策手法 効果的な電気柵の設置手法 電気柵設置実習	講義 講義 実習	7
5	栃木県における鳥獣害の状況 獣害に強い地域のづくり方 獣害に強い地域のづくり方現地検討会	講義 講義 実習	8
6	サルの生態を踏まえた対策手法 獣害防止柵設置実習(サル)	講義 実習	9

